

■ 株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
定時株主総会	毎年6月(基準日:3月31日)
単元株式数	1,000株
剰余金配当基準日	3月31日(期末配当) 9月30日(中間配当)
株主名簿管理人 特別口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂7-10-11 TEL 0120-232-711(通話料無料)
公告の方法	電子公告の方法により行います。 公告掲載URL http://www.nisshinbo.co.jp/ ※事故その他やむを得ない事由によって電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

株式に関する
住所変更等
のご照会および
お届出について

株式に関するお手続き(届出住所・姓名などの変更、配当金の振込方法・振込先の変更、単元未満株式の買取・買増の請求など)のご照会およびお届出につきましては、証券会社での口座開設の有無に応じて、いずれかの窓口にご連絡ください。

【証券会社で口座を開設されている株主様】

……当該証券会社にご連絡ください。

【証券会社で口座を開設されていない株主様】

……三菱UFJ信託銀行(特別口座管理機関)にご連絡ください。

TEL 0120-244-479(通話料無料:24時間受付)

ホームページ <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

株主優待のご案内

当社の株主優待制度は、社会貢献活動への寄付または当社グループの紙製品ギフトセットのどちらかをお選びいただける内容となっております。

今年度の社会貢献活動への寄付につきましては、昨年度に引き続き、東日本大震災の被災地復興支援のため、日本赤十字社の「東日本大震災義援金」を寄付先といたしました。

詳細は、ご優待対象の株主様へ同封いたしました株主優待申込みはがきをご覧ください。

○株主優待の内容

次のいずれか1つを選択いただけます。

1 株主様からのお申込み分 1件あたり3,000円を当社が取りまとめ、日本赤十字社「東日本大震災義援金」へ寄付

2 家庭紙製品ギフトセット(3,000円相当)
※日清紡グループの日清紡ペーパー プロダクツ(紙製品)です。



○ご優待対象の株主様

2013年3月31日現在で、1,000株以上保有する国内在住の個人株主の方。

○ご優待のお申込み方法

ご優待対象の株主様には、株主優待申込みはがきを同封しておりますので、必要事項をご記入のうえ、ご返送ください。なお、お申込みの締切りは2013年7月31日となっておりますので、ご注意ください。

日清紡ホールディングス株式会社

〒103-8650 東京都中央区日本橋人形町2-31-11

<http://www.nisshinbo.co.jp/>



第170期 株主通信

2012年4月1日～2013年3月31日

NISSHINBO

Integration for growth

日清紡ホールディングス株式会社

(証券コード3105)

株主の皆様へ



代表取締役会長 **鵜澤 静**
(うざわ しずか)



代表取締役社長 **河田 正也**
(かわた まさや)

株主の皆様には、日頃より当社グループへのご理解とともに厚いご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

このたび、当社グループは2017年度の長期業績目標の達成に向けて、新経営3ヵ年計画「NEXT 2015」を策定・公表いたしました。「NEXT 2015」の実行により、人間社会の持続的な発展に貢献する「環境カンパニー」として、さらなる事業の発展を目指します。

また、2013年6月27日に開催されました第170回定時株主総会および同日開催の取締役会をもちまして、代表取締役会長に鵜澤 静、代表取締役社長に河田正也が就任いたしました。

新たな経営体制のもと、当社グループが一致団結して持続的な企業価値の向上に取り組んでまいりますので、株主の皆様におかれましては、引き続き一層のご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

当期業績について

当期の業績は、売上高は、TMD FRICTION GROUP S.A.(TMD社)を連結子会社に加えたことなどから大きく増加しました。営業利益は、TMD社の買収に伴って生じたのれんの償却費負担などがあったものの、エレクトロニクス事業が事業構造改革の効果などから業績が回復し黒字化したことに加え、不動産事業の大型分譲があったことなどから、大幅な増益となりました。

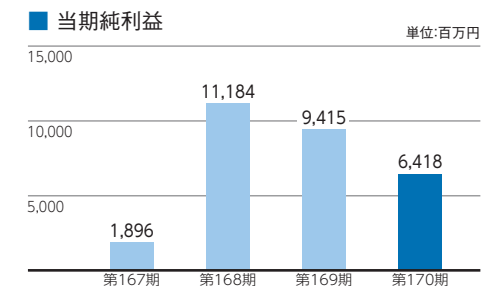
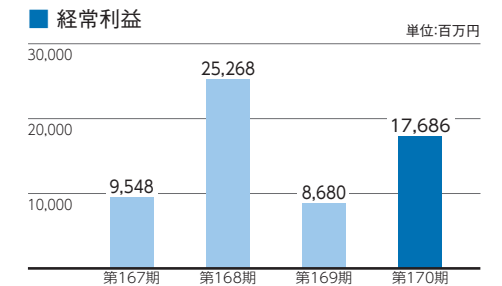
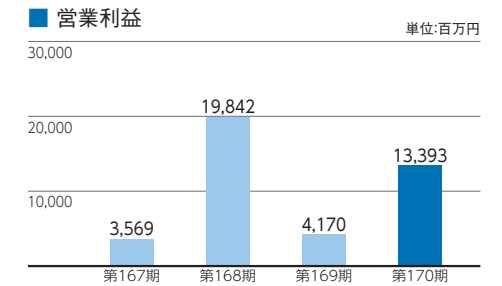
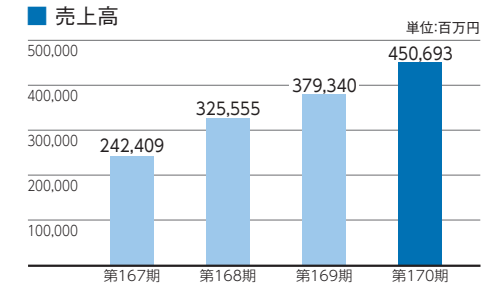
■ 連結業績

● 売上高	450,693百万円 (前期比18.8%増)
● 営業利益	13,393百万円 (前期比221.1%増)
● 経常利益	17,686百万円 (前期比103.8%増)
● 当期純利益	6,418百万円 (前期比31.8%減)

業績目標達成に向けて

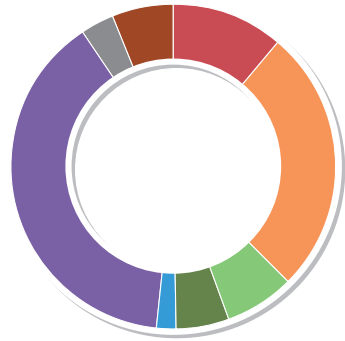
当社グループは、「2018年3月期(2017年度)までに売上高6,000億円超、ROE9%超を達成」という長期業績目標を掲げ、積極的なM&Aや新規ビジネスの事業化・既存事業の再構築を進めています。

長期業績目標の達成に向け、そのマイルストーンとなる新経営3ヵ年計画「NEXT 2015」では、次世代を勝ち抜くための「成長へのインテグレーション(グローバル・環境・エネルギー)」をスローガンに、継続的な収益確保とさらなる成長を果たすための強靱な経営体質への変革、新規事業の育成・拡大やM&Aも活用した積極的な経営を進め、グローバルに戦え、かつ真に存在感のある「環境カンパニー」の実現を目指します。



■ **当期** (2012年4月1日から2013年3月31日まで)

■ **事業別売上比率**



- 繊維事業 11.3%
- ブレーキ事業 26.4%
- 紙製品事業 6.8%
- 精密機器事業 5.4%
- 化学品事業 1.8%
- エレクトロニクス事業 38.9%
- 不動産事業 3.4%
- その他事業 6.0%

■ **ブレーキ事業** 摩擦材、アッセンブリ製品など



売上高	118,849 百万円	↑
	(前期比150.5%増)	
営業損失	4,301 百万円	↓
	(前期比8,556百万円の悪化)	

TMD社の連結子会社化や米国・タイ・韓国の海外子会社の売上増により大幅な増収となったものの、TMD社の買収に伴うのれんの償却負担などにより、損失を計上しました。

■ **繊維事業** シャツ、テキスタイル、デニムなど



売上高	50,773 百万円	↓
	(前期比16.7%減)	
営業利益	574 百万円	↓
	(前期比31.6%減)	

ブラジル子会社の業績が回復したものの、国内需要が総じて低調に推移したことやインドネシア子会社の売上減少・原料コスト増加などの影響により、減収・減益となりました。

■ **紙製品事業** 家庭紙、洋紙、紙加工品など



売上高	30,524 百万円	↑
	(前期比1.0%増)	
営業利益	709 百万円	↑
	(前期比171.8%増)	

トイレットペーパーの高付加価値品の販売拡大、ファインペーパーや合成紙のインクジェット製品の販売好調に加え、原料安が寄与したことにより、増収・増益となりました。

■ **精密機器事業** 太陽電池製造装置、精密部品加工、プラスチック成形品など



売上高	24,520 百万円	↓
	(前期比2.7%減)	
営業損失	146 百万円	↑
	(前期比923百万円の改善)	

世界的な太陽電池市況の低迷により太陽電池製造装置の販売が減少したため減収となりましたが、プラスチック成形加工品の利益増や経費削減の効果などにより、損失は縮小しました。

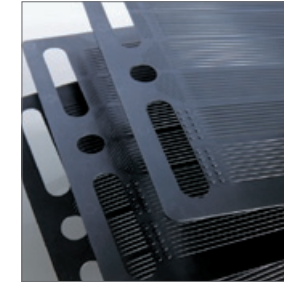
■ **エレクトロニクス事業** 情報通信機器、半導体製品、電源・エネルギー機器など



売上高	175,307 百万円	↑
	(前期比3.2%増)	
営業利益	7,788 百万円	↑
	(前期比11,900百万円の改善)	

日本無線(株)における防災無線システムや通信インフラ関連機器の売上拡大により増収となり、新日本無線(株)で取り組んできた事業構造改革の効果も加わり、損益は大きく改善し大幅な黒字となりました。

■ **化学品事業** ウレタン・カーボン製品、機能化学品、燃料電池セパレータなど



売上高	8,150 百万円	↓
	(前期比1.3%減)	
営業利益	132 百万円	↓
	(前期比64.5%減)	

断熱製品や機能化学品の売上は増加しましたが、車載向け燃料電池セパレータや電気二重層キャパシタの販売低調などの影響により、減収・減益となりました。

■ **不動産事業** 宅地分譲、土地・建物賃貸など



売上高	15,366 百万円	↑
	(前期比69.2%増)	
営業利益	12,289 百万円	↑
	(前期比82.3%増)	

旧名古屋工場跡地の大型分譲を実施したことや、各事業所跡地の宅地分譲事業が本格化したことなどから、大幅な増収・増益となりました。

特集

経営3ヵ年計画

NEXT 2015

当社グループは、2013年度から2015年度までの新経営3ヵ年計画「NEXT 2015」を策定しました。

前経営3ヵ年計画の挑戦(Challenge)に続く次(NEXT)の段階として、「環境・エネルギー事業でグローバルレベルの成長戦略を描き、長期業績目標の実現に向けて企業価値を高める3年」と位置づけ、基本方針に基づき重点施策の実現に取り組みます。

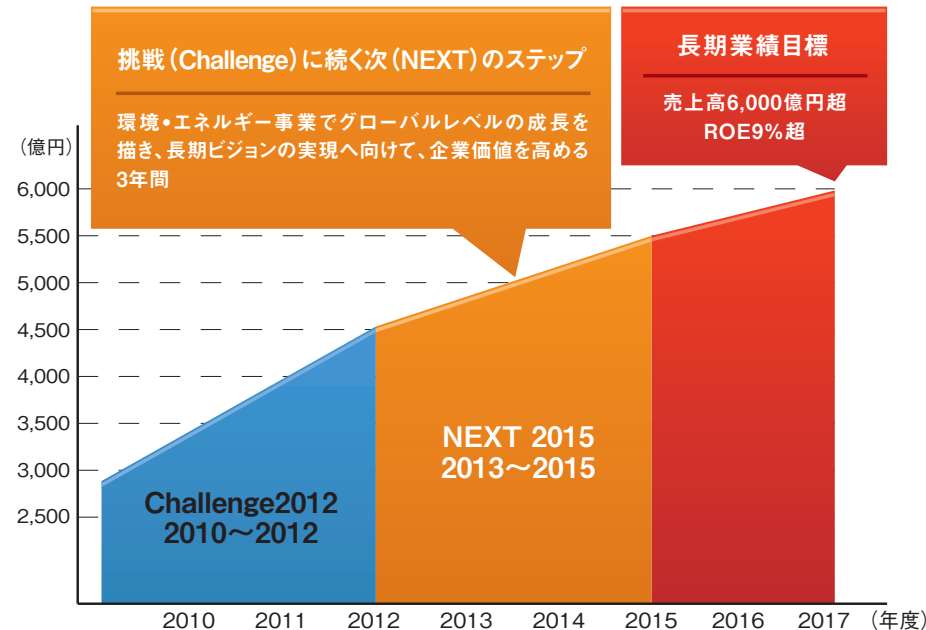
■テーマ

「成長へのインテグレーション」(グローバル・環境・エネルギー)

- 事業分野ごとの国内外の経営一体化
- 事業分野を超えた統合

- 継続的な収益確保と強靱な経営体質への変革
- 環境・エネルギー事業の育成・拡大

■NEXT 2015の位置づけ



■売上・利益目標

	売上高	営業利益
2012年度実績	4,506億円	133億円
2013年度予想	4,800億円	140億円
2014年度目標	5,100億円	160億円
2015年度目標	5,500億円	240億円

■基本方針と重点施策

1 事業構造の強化

～収益力改善とグローバル競争力強化～

1 エレクトロニクス事業の再生と成長

- ▶▶ 成長戦略の遂行
 - ・アジア市場への生産・販売のシフト
 - ・技術革新によるスマート化社会への貢献
- ▶▶ グローバルレベルでのコスト構造改革
 - ・生産機能の移転
 - ・東南アジアの生産拠点の設立

2 ブレーキ事業の強化

- ▶▶ TMD社の収益力回復
 - ・コスト構造改革
 - ⇒ 継続的な収益体質へ復活
- ▶▶ アジア戦略の強化
 - ・中国新会社、タイ新拠点の活用

3 各事業の収益体質強化とグローバル化の加速

織 維	「アポロコット」ブランド拡販
紙 製 品	高付加価値品へのシフト
精密機器	太陽光ビジネス:事業再構築 プラスチック成形加工:世界需要の取り込み
化 学 品	機能化学品(カルボジライト)の増産・ 拡販体制構築

2 成長ドライバーの育成

～環境エネルギー事業の加速～

環境・エネルギー分野の新規事業で「環境カンパニー」としてさらなる成長を目指す

1 環境ビジネスの伸長

- 燃料電池セパレータ
 - 家庭用・定置用 ⇒ 車載へ
- 電気二重層キャパシタ
 - カーメーカーとの共同開発

2 シナジーの創出

- グループ内の横断的協業を推進
 - ⇒ 次世代の新製品・サービスの創出

スマートファクトリー

3 経営基盤の強化

～確かなグローバル企業へ～

1 コーポレートガバナンスの一層の強化

2 グローバル経営体制の強化

3 グローバル人材の強化

4 グローバル財務・税務体制の強化

トピックス

グローバル戦略

ブレーキ事業のタイ子会社で第二工場設立へ

当社グループは、ブレーキ事業のアジア戦略強化の一環として、タイの子会社である日清紡ソーンブーンオートモーティブ(NSA)に第二工場の設立を決定しました。

NSAは1996年の設立以後、タイの自動車産業の発展とともに順調に業績を伸ばしており、さらなる新規受注に応えるため、生産能力を増強するものです。第二工場の建屋完成は2013年8月の予定です。

第二工場の設立に伴い第一工場との生産ラインの再構築を実施し、工場運営の効率化を図ります。



(完成予想図)

新商品のご紹介

紅茶が香るトイレットペーパー『フレーバーティーセレクション』の販売開始

当社グループの日清紡ペーパー プロダクツ(株)では、本年4月から紅茶の香りをテーマとしたトイレットペーパー『フレーバーティーセレクション』の全国販売を開始しました。

「紅茶の香りで極上のリラックスタイム」をテーマに、トロピカルフルーツティーの香りの『南国の紅茶タイム』と、カモミールフレーバーティーの香りの『英国の紅茶タイム』の2種類を用意しました。フレーバーティーの香りと明るいカラーでトイレを華やかに彩ります。



社会貢献

タイの洪水被害への寄付に対し紺綬褒章を受章

当社は、2011年の東日本大震災やタイの洪水被害に対し寄付を行ってまいりましたが、このたびタイの洪水被害への1,000万円の寄付行為に対して、紺綬褒章(こんじゅほうしょう)が授与されました。

紺綬褒章は国が授与する褒章のひとつで、公益のために一定額の私財を寄付した個人や団体が対象となります。当社グループは、これからも企業の社会的責任を果たすため、社会貢献活動に取り組んでまいります。

連結財務諸表の概要

連結貸借対照表の要旨

単位:百万円(未満切捨)

科目	当期末 (2013年3月31日)	前期末 (2012年3月31日)	科目	当期末 (2013年3月31日)	前期末 (2012年3月31日)
資産の部			負債の部		
流動資産	239,318	239,600	流動負債	188,406	168,938
固定資産	312,081	294,028	固定負債	120,903	151,894
有形固定資産	165,552	162,824	負債合計	309,309	320,833
無形固定資産	44,762	47,068	純資産の部		
投資その他の資産	101,767	84,135	株主資本	188,410	184,679
繰延資産	532	954	その他の包括利益累計額	20,964	1,053
資産合計	551,933	534,583	新株予約権	282	246
			少数株主持分	32,966	27,771
			純資産合計	242,623	213,750
			負債及び純資産合計	551,933	534,583

連結損益計算書の要旨

単位:百万円(未満切捨)

科目	当期 (2012年4月1日から 2013年3月31日まで)	前期 (2011年4月1日から 2012年3月31日まで)
売上高	450,693	379,340
売上原価	359,463	317,533
売上総利益	91,229	61,806
販売費及び一般管理費	77,836	57,635
営業利益	13,393	4,170
営業外収益	8,002	7,021
営業外費用	3,709	2,511
経常利益	17,686	8,680
特別利益	2,966	2,436
特別損失	3,767	8,084
税金等調整前当期純利益	16,885	3,031
法人税等	6,290	△3,319
少数株主損益調整前当期純利益	10,595	6,350
少数株主利益又は少数株主損失(△)	4,177	△3,064
当期純利益	6,418	9,415

連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

単位:百万円(未満切捨)

科目	当期 (2012年4月1日から 2013年3月31日まで)	前期 (2011年4月1日から 2012年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	34,095	12,973
投資活動によるキャッシュ・フロー	△10,973	△57,860
財務活動によるキャッシュ・フロー	△24,072	16,835
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,662	△1,223
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	710	△29,275
現金及び現金同等物の期首残高	16,904	45,563
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	788	615
現金及び現金同等物の期末残高	18,403	16,904

■期末配当について

当期の期末配当金については下記のとおり決定いたしました。

1. 期末配当金 **1株につき金7円50銭**
2. 期末配当の効力発生日ならびに支払開始日 **2013年6月6日(木)**

■ 会社の概要 (2013年3月31日現在)

会社概要

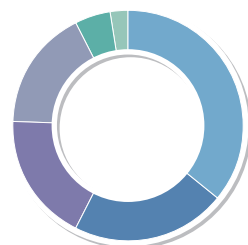
商号	日清紡ホールディングス株式会社 Nisshinbo Holdings Inc.
設立	1907(明治40)年2月5日
資本金	27,587,976,204円
従業員	231名(単体) 22,083名(連結)
本社	〒103-8650 東京都中央区日本橋人形町2-31-11
ホームページ	http://www.nisshinbo.co.jp/

■ 株式の概況 (2013年3月31日現在)

株式状況

発行可能株式総数	371,755,000株
発行済株式総数	178,798,939株
株主数	14,234名

所有者別株式分布状況



金融機関	36.0%
外国法人等	21.6%
その他の国内法人	18.1%
個人・その他	17.0%
証券会社	5.0%
自己株式	2.3%

■ 役員 (2013年6月27日現在)

取締役・執行役員

取締役会長*1	鵜澤 静
取締役社長*1	河田 正也
取締役副社長*1	恩田 義人
取締役副社長	五十部 雅昭
取締役常務執行役員	村上 雅洋
取締役執行役員	萩原 伸幸
取締役執行役員	西原 孝治
取締役執行役員	木島 利裕
取締役*2	秋山 智史
取締役*2	松田 昇
取締役*2	清水 啓典
執行役員	馬場 一訓
執行役員	河村 昌弘
執行役員	中野 裕嗣
執行役員	吉野 明宏
執行役員	相築 政和
執行役員	岩田 和寛

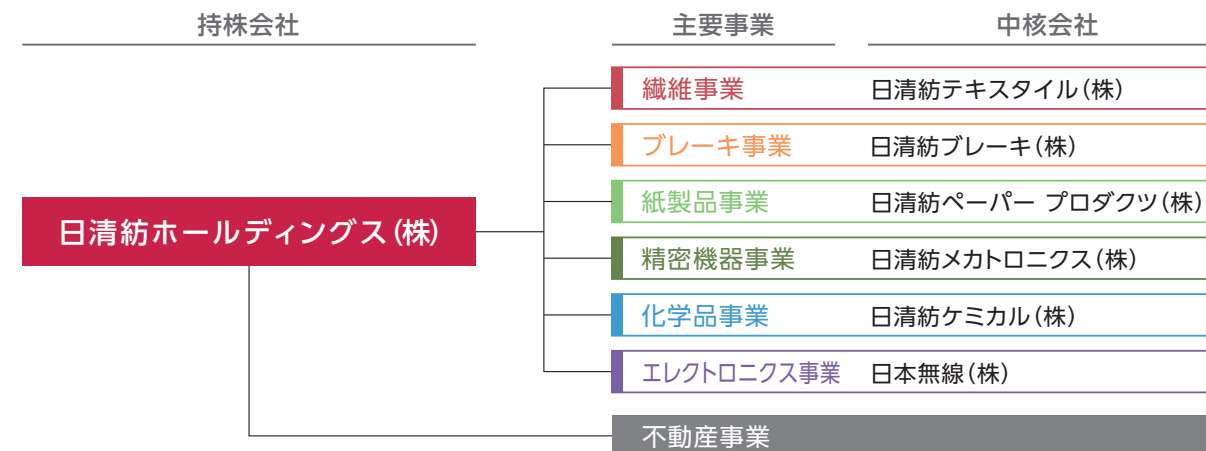
*1は代表取締役 *2は社外取締役

監査役

常勤監査役	井出 義男
常勤監査役	佐塚 政男
監査役*	川上 洋
監査役*	富田 俊彦

*は社外監査役

■ グループの概要



CM『ドッグシアター』新シリーズのご紹介

昨年よりテレビや電車内で放映されている当社グループのCM『ドッグシアター』。ご好評につき本年5月から新シリーズを放映しています。

『ドッグシアター』シリーズは、犬と人間の「二人羽織」という不思議でコミカルな設定となっており、今回のシリーズも前回と同様にインパクトのあるCMになりました。

このCMを通じて、当社グループが「環境カンパニー」として「今、必要な会社」であることを引き続きアピールしていきます。



☆当社ホームページでもご覧いただけます。

